城北まちづくり通信

2023/5/26
４６号
城北まちづくり協議会
事務局：城北地区公民館

「城北まちづくり協議会」通常総会【報告 ~その1~ 】

５月１４日に、４年ぶりに対面で通常総会を開催しました。委員数７０名のうち、出席５１名、委任状出席は１７名でした。
新型コロナウイルスの感染法上の位置付けが、「5類」に引き下げられたとはいえ、重症化リスクのある不特定多数の方が参集されることが想定され、感染対策を取った上で、例年に倣って以下の議案について協議し承認されました。

①第１号議案　令和4年度活動報告ならびに収支決算・監査報告について
②第２号議案　令和5年度活動計画ならびに収支予算（案）について
③第３号議案　各部の令和4年度の活動報告を踏まえた計画案について
　　◎4部会の令和4年度事業報告及び令和5年度大筋計画案
④第４号議案　「地域の“話し愛･支え愛”推進事業」継続案件について
⑤第５号議案　令和5年度 役員選任について

【主な質問・意見の内容】

活動ならびに収支の説明で、“一括交付金Ⅰ”の事業・収支についての説明はあるが、“一括交付金Ⅱ”についての説明がないのはなぜか？

■　『一括交付金Ⅰ』の内訳は“ｺﾐｭﾆﾃｨ育成支援事業運営補助・活動補助”になりますし、『一括交付金Ⅱ』は“生涯学習委託事業・公民館運営費”です。
これらは市の監査対象項目に準じて、預金通帳・金銭出納簿および証憑書類を整理しています。また、“一括交付金Ⅰ”は、まちづくり協議会総会の承認が必要ですので、事業・収支の資料をもとに協議しました。一方、“一括交付金Ⅱ”は、鳥取市公民館条例施行規則で公民館運営委員会で審議することになっているため、事業・収支の資料を載せていませんでした。説明不足を陳謝します。次年度以降は、“一括交付金Ⅱ”の事業内容及び収支は、「公民館運営委員会で審議済み」という一項を入れさせていただきます。

狐川水質浄化対策は、その後どうなっているのか？　また、狐川の通水量を増やす工事をして、大雨の際に内水氾濫のおそれはないのか？

■　狐川の通年増水0.2m^3/sの運用に向けた工事（狐川・山白川分水地点、市新設分水桝地点）は、県・市ともに3月に完了しています。6月中を目途に詳細の流量観測を行い、計画の「0.2m^3/s」の水が流れるよう調整を行う予定です。また、“流量を増やして大雨の際に内水氾濫のおそれはないのか？”というお尋ねですが、狐川は50年に１度の大雨（45m^3/s）を想定して整備されています。これに対して、今回の維持流量0.2m^3/sは、わずかであることから、治水上の影響は、ほとんどないと考えられます。また、降雨時の治水対策として、0.2m^3/sを超える流量になった場合には、山白川や幸町ポンプ場に水が流れるように設計されているため、降雨時の狐川下流部への流入量が、今回の工事の影響で従前よりも増えるということはありません。（回答より抜粋）

【●県：狐川分水施設等設置工事　工期：令和4年12月1日～令和5年3月15日　●市：千代川右岸第２排水区修繕工事　工期：令和5年1月23日～令和5年3月24日】

＊鳥取県 県土整備部 河川課より3名の担当者が来館され、説明していただきました。城北地区の災害リスクを説明する際に、詳しく説明させていただきます。